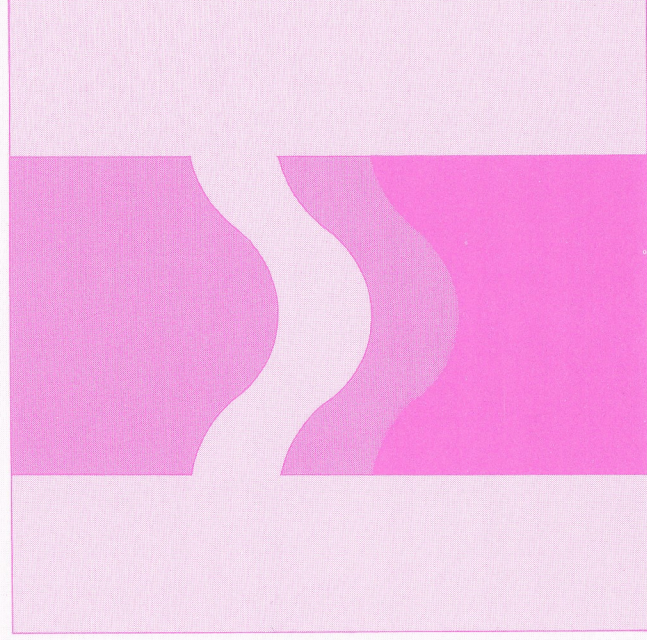


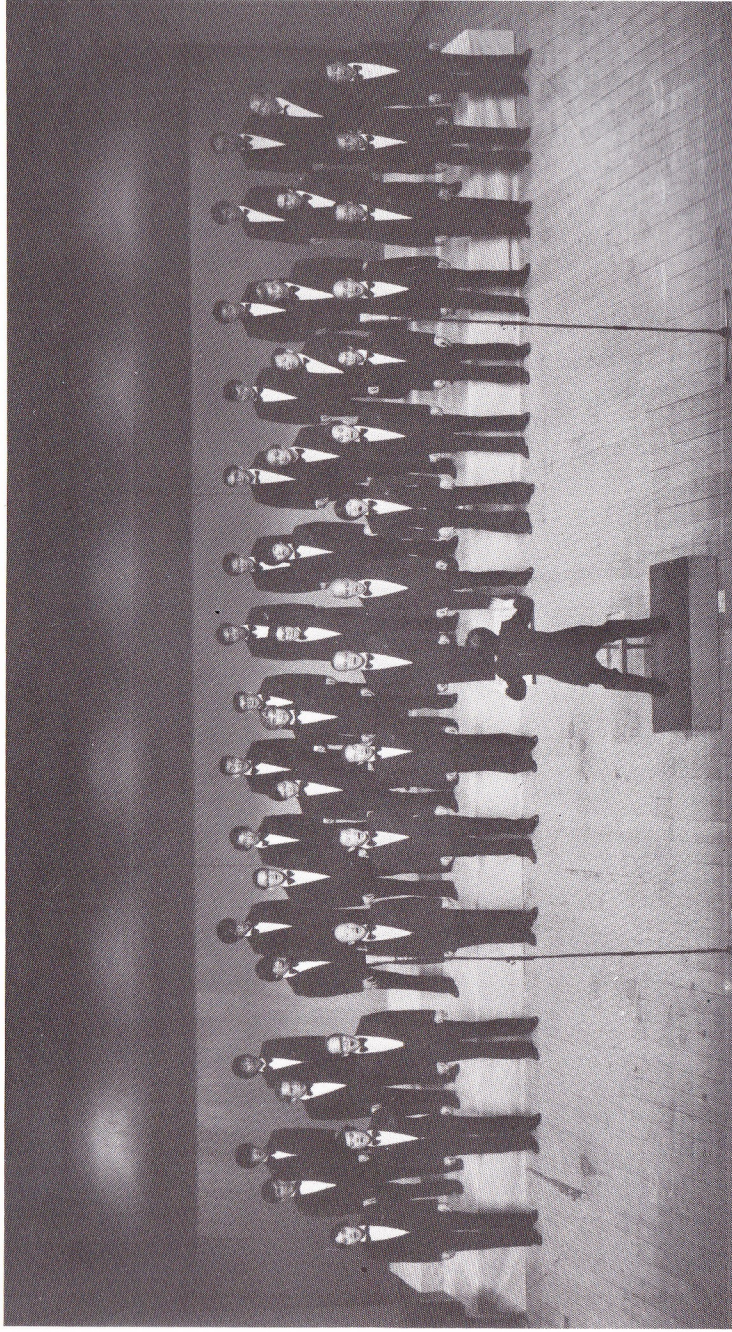
小田原男声合唱团

16th Regular Concert



1987.11.4 (水) PM6:30 開演

小田原市民会館



皆様、おいで戴きありがとうございます

小田原男声合唱団

代表者 日下部 陽

こんばんは。きつと秋のウィーク・デーのまん中の日というと、皆様にはご多忙だったことと拝察します。団員一同は心から感謝し、厚く御礼を申し上げます。今年に限り7月はじめの土曜日夜という毎年の習慣を変更し、今夜という日にさせて戴きましたことを、まずはお詫び申し上げます。また今年は黒岩英臣先生を密演指揮者としてお迎えし、ご覧のようなプログラムを皆様にお届けしようという次第です。オダダンを創立させ、15年間に亘り育てて戴いた福永陽一郎先生の情熱的なご指導を基盤にして、団の活動は更に続くでしょうし、また毎年、有形無形のご声援を賜った皆様のためにも、今後も熱心な練習によつてお酬いせねばならないと考えております。

福永先生のご健康の面は私たちも心配してまいりましたが、昨年末で辞任されました。もちろん現在も各方面でご活躍ですが、ご無理なきことを祈っております。そうした経緯から、今年のご案内の如く、例年とは違った形にさせて戴きました。また団内の副指揮者陣も、16年の才月の経過と共に公的な仕事に極めて拘束されがちとなり、日常の練習が中々むずかしくなりましたので、音楽技術指導を専任して下さる方を探し求めました結果、9月初めから渡辺決己先生が毎火曜日に来て下さることとなり、再び練習に活況を呈してきました。幸い、今年度は新入団員6名を迎え、休・退団者も少なく、団員の合唱音楽への意気は盛んなのでありますが、今回への練習量という点では必ずしも十分とは申せず、皆様や黒岩先生に申しわけないと思っております。しかし精魂をこめて歌いますので、どうかこれまでと変わらず、ご助言やご高評を賜りますよう、宜しくお願い致します。

工レミアの哀歌は我が団が初めて体験する古典的な歌唱法の曲で、他のステージの曲の時代とも併せて、それぞれの性格がうまく出せるかどうかという「スリル」を感じます。どうぞ終りまで、第16回定期演奏会をお楽しみ下さいますように。感謝をこめて。

プログラム

1. 「The Lamentations of Jeremiah」 (エレミアの哀歌)

Thomas Tallis : 作曲

2. シューベルト男声合唱曲集より

ピアノ伴奏：青木雅也

- I. Mondenschein (月光)
- II. Sehnsucht (憧れ)
- III. Im Gegenwärtigen Vergangenes (現在の中の過去)

3. 清水 脩を偲んで 「大手拓次の三つの詩」

清水 脩：作曲

- I. とじた眼に
 - II. みずいろの風よ
 - III. しろい火の姿
- 休 憩

4. 「北原白秋の詩」から

- | | | |
|-------------|------|----|
| I. 柳河 | 多田武彦 | 作曲 |
| II. この道 | 山田耕筰 | 作曲 |
| III. からたちの花 | 山田耕筰 | 作曲 |
| IV. あわて床屋 | 山田耕筰 | 作曲 |
| V. 帰る帰る | 山田耕筰 | 作曲 |
| VI. ちんちんちどり | 近衛秀麿 | 作曲 |

指揮者 黒岩英臣



(写真・木之下 晃)

翔んでる2人の対談集

英臣 両親とも音楽をやっていて、父がヴァイオリンで母がピアノ、もちろんアマチュアだったけどさ。兄貴の方は、最初から音楽を仕込まれたんだよね。

英臣 そうはいっても、やっぱり環境というのは大きいよ。

義臣 これは5〜6歳頃の記憶だけど、母が弾いていたシヨパンの演奏が、いまでも心にやきついているよ。

英臣 そういえば家には、よくヴァイオリンや声楽をやっている人が遊びに来てたよな。

義臣 そんな環境に育ったから、ボクらの幼児体験がほとんどきれいになってさ。それがボクたちの、音楽に対する情熱や今日の成長に、大きな力になっているのは事実だね。

英臣 それにしても、ひとり指揮者になり、ひとりクラリネット奏者になった。そのへんも面白いけどね。

義臣 ボクは兄貴のように、小さい頃から音楽の専門教育を受けなかったし。だから両親や兄貴がやっているのを、いわば「門前の小僧」のように(笑)、演奏を聞いて育ったというかな。そのうち「クラブでもやってみるか」って、中学でバンドに入っつてね。それが、いまでは何となく生きるセンになっつちやっつてさ。

英臣 義臣はピアノが好きで、小さい頃からよく弾いていたじゃないか。

義臣 そうだけれどさ。兄貴もボクもそうだったけど、よくオペラのアリアをピアノの弾き語りであつたよな。

英臣 最後の泣きをやりたいばい(笑)、随分とオペラのアリアをうたつた記憶があるな。

義臣 ボクは、クラリネット専攻で大学(桐朋学園)に入っただけど、小さい頃からやってたからピアノもかなり弾けたし、歌もうたえた方だったからね。だから、大学の連中から「あいつは一体、何科なんだ」って、よくいわれたよ(笑)。

1942年東京に生れる。

1960年桐朋学園大学指揮科入学、故斎藤秀雄氏に師事した。在学中はステージ、ラジオ、テレビ等で同大学オーケストラを指揮する他、ヴァイオリン奏者としてNHK「朝のワルツ」等に出演。ピアノ奏者としても活動した。

1964年、同大学弦楽オーケストラのアメリカ公演に指揮者として同行、ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ等で指揮した。

1965年同大学卒業、NHKテレビ「今年のホープ」に出演。同年、修道士となり1975年まで修道生活を送った。その間、神学、哲学、ラテン語、グレゴリアン、ポリフォニーを学び、典礼音楽の指揮、作曲を行う。

1976年、再び音楽に専念、東京都交響楽団音楽教室などを指揮し、77年1月都響アマミリーコンサートの演奏で「久方ぶりに現れた優れた資質をしかと感ぜさせる新人」と絶讃され、一躍脚光を浴びた。

1978年夏には、パークシャー・ミュージック・センターにクレーヴェイツ記念フェローシップ・コンダクターとして参加、研さんを積む。

札幌交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団の定期演奏会をはじめ、東京の主要オーケストラとの共演も数多く行っており、今後の一層の活躍が期待されている。

1981年9月より九州交響楽団常任指揮者に就任。

1985年8月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者も兼任。

指揮者＝黒岩英臣 クラリネット奏者＝黒岩義臣

英臣 ボクの専攻は、大学ではもちろん指揮者だったが、それ以前からもピアノや弦楽器、作曲をやって、多岐にわたった活動をしてたのは事実だね。

義臣 変な言い方だけど、真面目な勉強(音楽)という感じではなく、かなり「自然な遊び心」というかな。だからボクたちは、音楽を「勉強」という感じでは、はじめてないね。

英臣 そう、ごく自然にね。ボくらにとつては、それはやはりよかつたと思うな。

義臣 幸せだよな。

英臣 それは、確かに幸せなケースだと思うな。

英臣 話は変わるけど、音楽はある面では抽象的だけど美しい。ボクは音楽をこよなく、美しくやりたいと思っっている。どのように美しくやつても、まだまだ足りない。それほど音楽って、美しいものだと思うよ。

義臣 美しく深い心から生まれ出てくるものは、本当の音楽をつくり上げるものだと思うな。

英臣 ふだん自分の思っていることと音楽は、生活の中でどこかで結びついているのは事実だよ。

義臣 ボクは、それが一致しないとウソだと思うな。

英臣 クラシック音楽にふれたことのない人でも、ボクは何とかふれるチャンスをつくりたいと思っっている。それで「クラシックっていいもんだな」って、思っつてくれる人もいると思うな。

義臣 ボクのコンサートに来てくれた、クラを全くといっていいほど知らない友人が「クラリネットって、あんなに表現能力をもった楽器なのか」っていつてくれてね。その言葉は、ボクにとつてはすごくうれしかったよ。

英臣 ボクが指揮で、義臣はクラでドイツで頑張ってるけど、ボくらには音楽と社会との結び目になっつていきたい。本当に心から、そう思うよ。

「バンドジャーナル」9月号より抜粋。

曲目解説

※エレミアの哀歌

(トーマス・タリス作曲)

作曲者トーマス・タリス (1505頃～85) は、その弟子バードとともに、イギリスのテューダー王朝楽派を代表する巨匠の一人です。

16世紀のイギリスは、長期にわたり宗教上の対立と社会的変動が続き、教会に奉職する以外ほとんど生活の基盤のなかつた音楽家たちにとっては、生きていくことが決して、容易でなかつたと思われれます。

タリスも、その例外ではありませんでした。1542年に王室礼拝堂の音楽家として任ぜられてからは、順調な生活を送ることとなり、1575年には、弟子のバードとともに、エリザベス女王から楽譜出版販売の独占権を与えられるなど温かい保護を受けています。

タリスの作品は、120曲あまり現存していますが、ごく少数の世俗的声楽曲と器楽曲をのぞけば、ほとんど宗教的声楽曲です。

「エレミアの哀歌」は、本来カトリック教会で聖週間に行われる典礼音楽ですが、作曲年代のイギリスの状況や、大胆な転調を含む作風、歌詞の一部に典礼の標準的なテクストとは異なる部分があるなどから、聖週間に歌われるモテトないしは、教会を離れた教育目的として書かれたもののようなようです。

タリスは、ラテン語旧約聖書第1章第1～5節をテクストとし (内容は、「予言者エレミアがエルサレムの炎上とユダヤ人のバビロニア島囚を嘆き、神の助けにたよることを説いた詩) 第1～2節を第1曲、第3～5節を第2曲としました。二つの曲は第1曲が「Incipit Lamentatio Jeremiae prophetae (予言者エレミアの哀歌ははじまる)」、第2曲が「De lamentatione Jeremiae prophetae (予言者エレミアの哀歌よ)」「Ierusalem convertere ad Dominum Deum tuum (エルサレムよ汝の神なる主に帰るべし)」という終結の句で終わります。また、テクストの各節のはじめには、

ヘブライ語のアルファベットの最初の5つの文字「Alepe (アレフ)」「Beth (ベトウ)」「Ghime! (ギメル)」「Daleth (ダレトウ)」「He (ヘ)」が、ひとつずつおかれています。これは、ただ節の区切りを示すものにはすぎませんがその部分には、古いメリスマのスタイルがみられます。

(佐藤章氏解説より)

※シユーベルト男声合唱曲より

かつてはもっぱら教会や専門的な劇場のものであった合唱曲が、市民一般のものとなつたのは、シユーベルトの時代からそれほど以前のことではありません。

ウイーンの宮廷少年合唱団の出身であるシユーベルトは、その初期からこのジャンルに手を染め、生涯に100に近い作品を書いています。シユーベルトの残したこれらの作品の多くは、彼のサークルで、宮廷歌手でもあつたテノールのヨゼフ・バルトら仲間の声楽家たちによつてうたわれた男声四重唱曲でした。しかし、独唱と合唱の区別が現在のように厳密ではなかつたシユーベルトの時代には、こうした四重奏曲は、4人の独唱者によつてうたわれるだけでなく、各声部を複数でうたうことも自由に行われました。

親しい人々との楽しみのために書かれたそれらの作品は、彼のリートに比べてより簡潔で親しみやすい内容をもつものが多いです。

1. 現在の中の過去

Im Gegenwärtigen Vergangenes
この曲と共に9曲のリートを作曲するなど、シユーベルトがゲーテの詩によつて最も多くの作品を残した1821年の作で、四重唱だが、第1テノールの独唱ではじまる。アインシユタインはこの曲について「〈ゴンドラをこぐ人〉の試作であり……シユーベルトがまたしても“高度に象徴的”で神秘的な歌を音楽にしたということは、彼を幾百人もの合唱作曲家からぬきださせるのである」と述べています。

2. 月光 Mondenschein

男声五重唱ですが、テノール独唱にテノール1、バス3という四重奏がつく変わった編成をとっており、アインシュタインはこの曲は実際一つの主要作、傑作であって音楽の魅力と繊細な転調に満ちている…」と述べています。

3. 憧れ Sehnsucht

ゲーテの「ウイヘルム・マイスター」の中のミニヨンの歌に、シューベルトは実に6回作曲していますが、他の作は、いずれもリートで、少女の告白を台唱、それも男声五重唱に託したこの作品は、それだけに異彩を放っています。

※清水 脩を思んで

(大手拓次の三つの詩)

男声合唱について清水脩（昨1981年10月29日没）は、次の様に語っています。「私の合唱作品は編曲なども加えると400曲ぐらになる。その半数近くが男声合唱曲である。何故男声合唱曲が多いのか。また何故男声合唱曲を書くのか。答えは簡単である。私が合唱に頭を突込んだ最初は男声合唱だったし、以来ずっと男声合唱をうたい、男声合唱団を指揮することが多かったからである。私の身近に男声合唱団が常に存在した。しかも、そのすべては、アマチュアであった事も、私にとって仕合わせであった。アマチュアのかれらは、音楽そのものに対して、純粋すぎるほど純粋であった。私にからだごとぶつかってくる、その行動性は私の創造欲を刺激するのであった。」

「大手拓次の三つの詩」もアマチュアの合唱団、私たちの仲間である東海メール・クワイアーから昭和35年に委嘱されて作られた曲です。東海メールは、その年当時の合唱界としては珍しい日本の作品だけで、しかも委嘱初演だけの定期演奏会を開きました。その時、この曲は演奏会の目玉でした。東海メールは、この曲で全日本合唱コンクールの優勝をねらったのです。結果は見事初優勝。その演奏は「合唱界」という雑誌の附録ソノシートにもなり、名曲名演奏といわれました。この組曲は、題名どお

り三曲からなり、拓次の言葉のひびきが見事にとらえられた幻想ロマン派合唱曲の最たるものとして、現在男声合唱曲の重要レパートリーになっている名曲です。

※北原白秋の詩より

1. 柳 河

日本男声合唱作曲界の第一人者である多田武彦の処女作であると同時に、最良の傑作である組曲「柳河風俗詩」の第一曲。白秋の詩の情感をよくとらえています。

2. この道

北原白秋・山田耕筰コンビの名作のひとつ。編曲（福永陽一郎）は、拍子の扱いもふくめて自由なもの。5度転調をかさねて、メロディーを各パートに配分しています。

3. からたちの花

山田耕筰のもっとも有名な歌曲。もともとテノール独唱のために作曲されたものでしたので、男声合唱用の編曲には最適でした。林雄一郎氏の編曲は、ずいぶん以前から全国的に有名で、多くの合唱団に愛唱されました。

4. あわて床屋

中国の故事にヒントを得た、白秋・耕筰コンビのユーモラスな名作。編曲（福永陽一郎）は、ストーリー性に重点を置いた描写的なもの。

5. 帰る帰ろ

白秋・耕筰コンビは童謡もたくさん作った。この編曲（福永陽一郎）、第2回東西四大学合唱祭で慶応ワグネルを現在のダークダックスの“ゾウさん”が指揮して初演した。

6. ちんちんちどり

作曲をほとんどやらなかった近衛秀麿の唯一の名作歌曲。編曲（林雄一郎）も秀逸です。

預言者エレミアの哀歌

預言者エレミアの哀歌ははじまる

アレフ

いかに寂しき様にして座すや、昔は人のみちみちたりしこの都。もろもろの民のうちにて主たりし者、今は寡婦のごとくになれり。もろもろの州の女王たりし者、今は貢を入るる者となりぬ。

ベトウ

彼女は夜もすがら、いたく嘆き悲しみ、その涙頬に流る。その恋人の中にはこれを慰むる者ひとりだになく、その朋は、ことごとくこれにそむきてその敵となれり。

エルサレムよ、エルサレムよ、汝の神なる主に帰るべし

預言者エレミアの哀歌より

ギメル

ユダは悩みゆえにより、また大いなる苦役ゆえにて捕われゆきもろもろの民のうちに住いて安息を得ず

ダレトウ

これを追う者はみな狭隙にてこれを捕えたり、(シオンの道は) 祭りに上り来る者なきがゆえに悲しみ、その門はことごとく毀たれたり。その祭司たちは嘆き、その乙女たちは悩み、シオンもまた自ら苦しみのうちにあり。

ヘ

その仇は首となり、その敵は栄ゆ。そはその咎の多き故に主これを定めたまえばなり。その幼子らは捕われて、圧迫者の前にひかれ行けり。

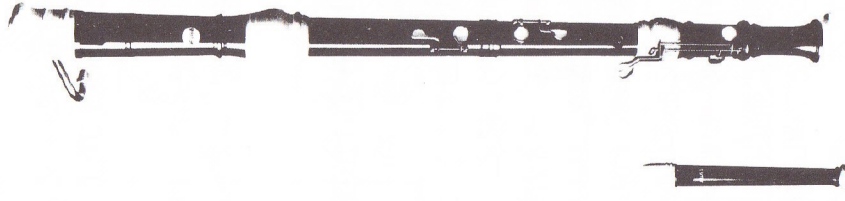
エルサレムよ。エルサレムよ。汝の神なる主に帰るべし。

いよいよ オダダンの意気の 見せどころ!!

田辺製薬株式会社 鳥居薬品株式会社

ALLOS[®]

fromクライン
toバス、アウロス。



シニアエニー No. 501 G シニアエニー No. 533

アウロスが語る結核予防技術の結晶。

格調高いハロソック調のデザイン。

森羅に迫る新時代のクライン。

世界一高レベルな製筆の伝統。

価格 ¥3,000(税別) 送料別 ¥200(送料別) 送料 ¥146

代金は、クレジット・デビット・現金・振込・振替

手数料は、クレジット・デビット・現金・振込・振替

手数料 ¥100(税別) 送料別 ¥200(送料別) 送料 ¥146

代金は、クレジット・デビット・現金・振込・振替

トヤマ楽器製造株式会社

東京本社 千174 東京都板橋区大原町41

大阪営業所 千541 大阪市東区北ノ芝寺町2-50

本町和光ビル ☎06-264-7191(代)



大手拓次の三つの詩

大手拓次

I. とじた眼に

うすうすにとじた わたしの眼に、
とおい日の あなたのすがたがうつる。

かげになりゆく とおい日の
そらいろのすがたが うつつ。

こえをおさめた 小鳥のように
そよかぜに ながされる ながれさる。

II. みずいろの風よ

かぜよ、
松林しょうりんをぬけてくる 五月の風よ、
うすみどりの風よ、
そよかぜよ、そよかぜよ、ねむりの風よ、
わたしの髪を なよなよとする風よ、
わたしの手を わたしの足を
そして夢におぼれるわたしの心を
みずいろの ひかりのなかに 覺さませる風よ、
かなしみとさびしさを
ひとつひとつ消してゆく風よ、
やわらかい うまれたばかりの銀色の風よ、
かぜよ、かぜよ、
かるくうずまく さやさやとした海うみ辺の風よ、
風はおまえの手のように しろく つめたく
薔薇ばいばいの花びらのがげのように ぶくよかに
ゆれている ゆれている、
わたしの あはいまどろみのうえに。

III. しろい火の姿

わたしは 日のはなのなかにいる。
わたしは おもいもなく こともなく
時のながれにしたがつて、

とおい あなたのことに おぼれている。
あるときは ややうすらぐようにおもうけれど、
それは とおりゆく 昨日きのうのけはいで、
まことは いつの世に消えるともない
たましいから たましいへ つながつてゆく
しろい しろい 火のすがたである。

オダダダン がんばれ!!

東京田辺製薬株式会社 富山化学工業株式会社

■1986~1987 小田男カレンダー

年月日	演奏会名	会場	指揮
86.3.16	東京リーダーファイルJoint	日本青年館	福永陽一郎
86.5.18	第8回JAMCA広島	広島厚生年金会館	福永陽一郎
86.6.1	第35回湘南合唱祭	秦野市文化会館	青木雅也
86.6.20・21	定演強化合宿	仙石原文化センター	
86.7.12	第15回定期演奏会	小田原市民会館	大塚正夫 大塚正夫 大塚正夫
86.9.13	福永陽一郎還暦コンサート	新宿厚生年金会館	大塚正夫
86.10.12	第21回小田原市民合唱祭	小田原市民会館	大塚正夫
87.6.7	第36回湘南合唱祭	厚木市文化会館	柏木秀茂
87.6.20・21	夏季合宿	仙石原文化センター	
87.10.18	第22回小田原市民合唱祭	小田原市民会館	渡辺 洸己
87.11.4	第16回定期演奏会	小田原市民会館	黒岩英臣

■1986~1987 演奏曲目

作曲者	曲名	作曲者	曲名
多田武彦	わがふるぎ日のうた	THOMAS TALLIS	THE LAMENTATIONS OF JEREMIAH
アメリカ民謡	ウエスタン・ノスタルジー	山田耕筰	あわてどこや
ロンバーク	学生王子	山田耕筰	この道
北海道民謡	そららん節	山田耕筰	からたちの花
伊豆大島民謡	大島節	山田耕筰	帰ろ帰ろ
山形県民謡	最上川民謡	F.Schubert	MONDEN SCHEIN
宮崎一章	島原の子守唄	F.Schubert	SEHNSUCHT
多田武彦	柳河	F.Schubert	IM GEGENWÄRTIGEN VERGANGENES
近衛秀磨	ちんちん千鳥		
清水 脩	大手拓次の三つの詩		

■今後の日程(予定)

年月日	演奏会名	会場	演奏曲目
87.11.15(日)	森と湖のコンサート	津久井町中野小学校	北原白秋の詩より
87.12.19(土)	神奈ファイル足柄第9演奏会	松田町民センター	Beethoven 交響曲第9番
88.5.29(日)	JAMCA東京公演	日本青年館大ホール	未定
88.7.9(土)	第17回定期演奏会	小田原市民会館	台唱のためのコンポジション ^他

メンバー・アラカルト

編集者が勝手に書いた横顔

T₁ (トップ・テノール)



大塚

大塚小の名指揮者。今年NHKコンクール銀賞。教頭、木曜会、大槻混声と沢山のフラジをはく。



吉田

こよなく人を愛することの出来る人。年の割りに若人、又ダンディー。プリリアントな声でトップの音色を決める。



青森

スキーと子育ての腕前は立派。その気になれば何事も乗っちゃおう人。



福島

酒や女より自分の声の素晴らしさに酔う。ほんと歌うことが好きみたい。



日置

マネージメントに生きがいを持っている。最近歌唱力に自信をつけ出した。



加藤

高校の先生。以外に小田男に居ついている。他のメンバーも見習え。



西山

忙しいのが腰が重いのか。いい声なんだからもう一寸出席してくれない?



中島

高い声を出す時はおまかせします。和泉短期大講師。声楽科出身。



杉本

今年6年ぶりに小田男に復帰。カナちゃんのパパさんも時には遊びたい。



加藤

子供のころジュニアマーチングバンドでドラムたまたま声学科を出て中学の先生。

T₂ (セカンド・テノール)



青野

団内随一の理論派。お酒が入っても変わらないからすごい。頼りになる人。



福井

大槻小で大塚氏とコンビ。この人のピアノがコンクールで物を言ってる。セカンドの芯。一寸ぶといけど。



藤本

入団の日が一番酔っ払って有名になった。ソフトボウルのコーチもやっている。



氏家

一見おとなしい。二見もう少し小田男内で活躍したいと考えているが家が遠いので遠慮している。



北島

奥バニ羽ガラスの一羽。若手としてだんだん慣れてきた所。これから実力発揮か。



鈴木

今16周年記念誌の編集長。広報も担当しているので小田男では何て忙しい所だろうと思っている。



青野

演義旅行の名幹事だが時々長く休む。



高橋

奥さんを式根島で見つけたヨットマン。今度は奥さんの影響で歌を。



鈴木

中学校の先生、マルバリー79ではオジサン願してるが小田男にぐればまだ若い若い。独身。



佐藤

現在の小田男で一番真面目な財政部長をやっている。頼まれた事はきちんとする性格のようだ。



金子

小田男超若手のホープ。若いのに良くしぶい歌を歌うとまわりは感心!



指揮者：渡邊 決己

今年の8月から、小田男の毎週火曜日の定例練習を指導して頂いています。来年の定演では新しい小田男の合唱を作り上げてくれるのでは……。乞う御期待。

B₁ (バリトン)



柏木

中井中の教頭。不曜会の指揮者。何でもパートとやるのが好きな人。



中島

男のロマンを感じる医者。音取りと楽譜の早さは団のトップクラス。みんな見習え。



山崎

プラン指導から合唱界へ華麗な転進をとげた教学の先生。



下村

合唱連盟理事長。創立メンバーの中では貴重な甘党。飲んでからまない。



広田

勤め：横浜。自宅：茅ヶ崎。練習小田原と毎週神奈川県を横断している。15年誌資料集めの中心。



松本

副指揮者。バリトンの中心人物のみならず団にとって貴重な人。



伊東

箱根温泉小学校にいた時生徒と学校にある温泉に入つてNHKに出演有名になる習字もやっている。



小沢

トキドキ練習に來ては、「よっ久しぶり、忙しくて…」と。昭和音大ピアノ講師。



佐藤

高校生。入団条件の16才で入った。大人の団体の中で経験は貴重なものだと思つて続けてほしい。

B₂ (バス)



日下部

ドクタードライバーで有名(？)世の中こういう者ばかりだったから医は仁術といえる。



下沢

歌好き、芝居好き(こゆるぎ座)ステージにのるのが好きが原因。



井上

小田男にとつては最も必要人物。ピアノをたいて発声練習して上達したの？



中山

小田男のワープロ使用のしり。メンバーのデータは自分のアロッピーに入っている。



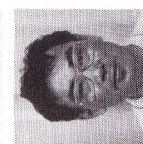
坂口

創立時からのメンバー。きちんとメンバーとして責務をはたしている。



江藤

厚木から通っている。まじめ課長。やわらかい声でうたう。



渡辺

英語の歌の時は発音の先生。無免許で自転車で練習の往復している。



山神

仕事が終わって練習時まで時間があるのでつい赤い顔になつてしまう。



福野

音楽も美術も好きな気ままな芸術家。練習も気分次第？ 声楽科出身。



湯川

小田原の合唱団では委員会を取りしきる腕はピカ一。



矢島

パート内では光つてるバスの持主。小学校の先生。



青木

ピアノリスト。小田男のステージで数多くピアノを担当指揮も勉強したこれから期待の人。

第16回定期演奏会スタッフ

実行委員長 斎藤恵司 事務局 井上忠彦 会計 渡辺誠之 渉外 下村興毅 プログラム 鈴木幸三 北島道治 デザイン 福野雅典 技術 松本和夫

小田原男声合唱団スタッフ

指揮者 渡辺功己 副指揮者 松本和夫 大塚正夫 柏木秀茂 団長 日下部 陽 副団長・技術部長 福井靖史 副団長・財政部長 佐藤靖季 副団長・団員部長 日置達男 事務局長 井上忠彦 事業部長 斎藤恵司 渉外部長 下村興毅 備品部長 北島道治 情報部長 鈴木幸三 監査 足利裕之・坂口宗夫
休団者 近藤国男 石橋泰三 井筒 稔 小野 豊 坪井孝士 足利裕之 二宮治二 奥津光隆 鉅鹿明弘 古沢 憲 秋野 三郎 桑原敏雄



お食事とコーヒー 逢亭

お堀端通り
小田原市栄町 1-13-31
TEL 23-3631

楽しく弾ける、やさしく弾ける



電子オルガン ビクトロロン

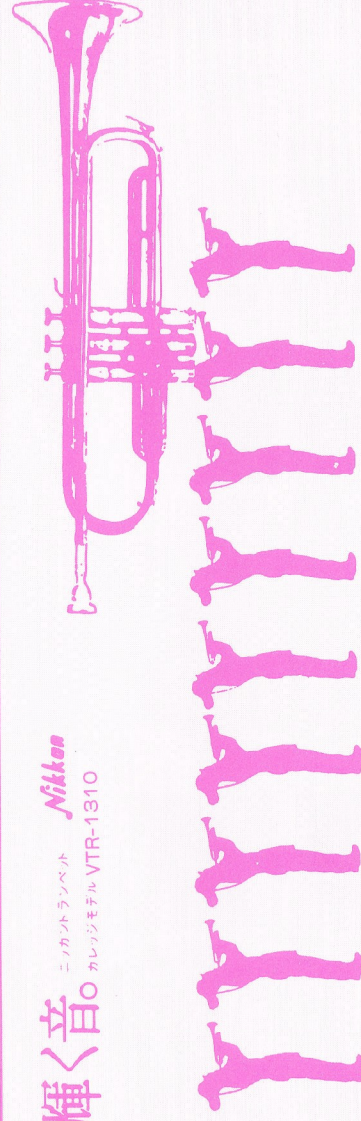
NS-5 SYSTEM B

- システム価格 ¥885,000
- 本体 NS-S ¥383,000 ●スタンフ NS-SI ¥28,000
- イス NS-B2 ¥26,000 ●足踏機 NS-PI ¥61,000
- フルカブラー電子オルガン電源ユニット NS-TB ¥240,000
- アンプ/AK-E33 ¥35,000 ●スピーカー SP-E77 ¥21,000×2
- スピーカーラック LK-8100 ¥11,500×2



JVC

輝く音。ニカントラソベト *Nikken*
カレッジモデル VTR-1810



◇ 音楽と仲よしになれる、新しいカタチ、新しい音。

MELODION M-32 S

株式会社 鈴木楽器製作所
浜松市漁業町443 TEL (0534)-61-2325(代表) 千430
鈴木楽器販売株式会社
横浜市緑区荏田町1856-8 横浜 (045)911-1916

アポロピア /

東洋ピアノ製造株式会社



井上楽器

小田原お堀端通り
TEL.24-0515